
魔法少女が色々と酷い目に遭うお話


んっ？
ぽうっ
キュン
悪の天才科学者とか魔獣たちが
存在する世界である日突然魔法少女の力に目覚めた私
!?
パアア
えっ
えっ


・・・・
ぉ
ぉ
ぉ
ぉ
カアア
もじもじ
突然の事で戸惑いながらも
与えられた使命を全うする為
えいっ！
ゴッ
今日も頑張っています！
よしっ！
けど・・・


たまに負けちゃう時があって
動けなくなった所をこうやって捕まってしまいます
ううっ…
ぐいぐい
ずりずり
狙いは魔力の塊である大事な卵
うっ…
ぬるーっ
はっ！
さっさせないっ！


魔法少女の元となる大事な力
そう簡単に奪われる訳にはいきません
最後の力を集中させ
強力な魔法でロックをかけます
ブゥン
ベチョ
ハチッ
うぅ…
ふーっ
ふーっ
なんとかしなきゃ…
けどそんな程度じゃ
諦めてくれる訳もなく
エッチな事をして妨害してきます


感じちゃいけないのに…
はぁ～♡
ぴくっ
ぴくっ
はぁ♡
あっ…
いやっ…
ぐいっ
くいっ
きゅん
ドロドロとした粘液のせいか
体が火照ってきて…
うぅ…
ぬるぬる♡
すりすり
んっ…
プスッ!!
うぐっ…
プスッ!!
プスッ!!
更に催淫効果のある毒を
身体中に注入されたりして
ヌポッ!!
ぷくっ
じんじん…
ヌポッ!!
トロォ…♡
無理やりエッチな気分にさせられます


そうやってどんどん
発情させられてしまった身体は
乳首を軽く弄られただけで
すぐにお漏らししちゃう程
敏感になってしまいます
びんっ
びんっ
あっ♡
あぁっ♡
はぁ
はぁ
はぁ
きゅっ♡
ぎゅっ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ


そんな風にずっと
ねちっこく虐められているうちに
はぁ♡
はっ♡
はぁ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
すりすり
すりすり
ぬるぬる♡
はッ
しまっ
どんどん魔法への意識がそれていき…
だっだめっ！
効力が弱くなった所を狙って
スリスリ


ずりっ
ずりっ
ずりっ
ゴリ♡
ゴリ♡
ゴリッ♡
あ♡
あぁ♡
あぁ♡
あぁ♡
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
メリッ
メリッ
ずるる


パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ひゃっやばっ
ビッ
ビッ
ビッ
ビッ
ヌチュッ♡
クリッ
ビクッ
ドチュッ
ドチュッ


ズチュッ
バチュッ
パチュッ
ぐちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬ


まっ…
はぁ
まだ間に合う
はぁ
はぁ
ぷーっ
ぷーっ
ぷーっ
意識があるうちに
魔法で押し出せばっ！
ぐぐぐ…
ぷるぷる
パァァ
ビクッ
しゅるしゅる
ビクッ
あぁ


ギチギチ
ふーっ
ふーっ
ふーっ


あぁっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくぴくぴく
だらぁ～ん
すると～
ヌポッ


ぬるーっ♡ぬぽ
ぐぱぁ～
ぴくっ
ぴくっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ♡
ぬちゅっ♡
ビクッ
ふぁ
!?


いや・・・
やめっ・・・て・・・
ぶるぶるっ
それとられるとわたし変身
・・・がっあ
ビクンッ
しゅる
ガッ
オチッ
オチッオチッ
オチッ
オチッ




はあ…
はあ
はあ
はあっ
はあ…
はあっ
はあ…
ビクッ
ビクビク
はあ
はあ
カが…抜けて…
…
ビクッ


ギイッ
へっ？
なん・で・・・？
取ったはずなのに
まだ・足りない・・の・・？
ぷるぷる
ふるふる
しゃる
しゃる
しゃる
しゃる
しゃる
いっ
いや・・
む・・り・・
むり
やめて
あ
あ
あ
あ
あ


ぷるんっ！
ビクッ！？
!?
ビッ！
いだっ！
いだいっ！
お尻叩いちゃ
いだっ
パンッ
パンッ
パンッ
わっわかりましたっ！
だしますっ
頑張って出しますからっ！


それからの事はうろ覚えで
あまり思い出せませんが
ぷるぷる
すっ…
ふーっ
ふーっ
ふーっ
んっ
ポコォ…
排卵した魔力の卵は
すぐに食べられちゃって
ビクッ
ビクッ
ズリュ
パクッ
それでも満足してもらえず
ぐりぐり
ぐりぐり
おっ♡
そこぐりっ♡
ビクッ
ビクッ
はっ
おっ♡
はっ
おっ♡
ずりっ
ずりっ♡
ぞりぞりっ♡
何度も何度も繰り返し…


途中何度か意識を失いかけましたが…
ぼ～～…
ぶるっ
ぶるっ
膣内をぐりゅぐりゅって虐められると
ぐりゅ
すぐに目が覚めちゃって
ぐちゅ
ぐちゅ
びくっ
びくっ
びくっ
はッ
はッ
はぁ
結局、意識を保ったまま
根こそぎ魔力を絞られ続けました


???時間後


あれ・・・私どうなったんだろ・・・
ガクッ
ガクッ
はあはあ・・・
はあ
はあ
そうだ魔力が空になって用済みだから
そのまま捨てられたんだった
身体があつい・・・
まだ毒がだいぶ残ってる・・・
今のうちに逃げなきゃ・・・
こんな真夜中の廃ビル
誰も来ないはずなのに・・・
もしかして私と同じ魔法少女？
スッ
スッ
スッ
スッ
なに・・・この音・・？
ちがうっ
この足音って・・・




ス…


ズンッ


そんな…こんな時に別の魔獣が来るなんて
ヴぉぉぉ
しかも雌を孕まして繁殖する事に特化した厄介な個体


どうにかして逃げないと・・・
あぐっ・・
ぐぃ
なっ・・に・・を・・・
ビクッ
ぐーッ
ぐにっ
けど・・魔力がない今の状態じゃ抵抗する力も出ない・・・
んべっ
ぐーッ
んっ
レロォ♡
クチュ
長い舌が喉奥まで・・・
ぬぷぷぷぷ
ぐちゅっ


ズリュルッ
はぁ
おえ
はぁ
くっくるしい…
でもこの魔獣の体液、
微量の魔力が含まれてる
このまま変身に必要な魔力を
溜めればなんとかなるかも…
ふーっ
ふーっ
ふーっ
ニュルッ
ニュルッ
ニュルッ
レロッ
レロッ
レロッ
じゅるっ
じゅるっ
はぁ
はぁ
うぅ唾液だけじゃ
全然足りない…
ビキ
ビキ
もっと濃くて量が多くないと…


はっ
凄い・・・先から
たくさん液が漏れ出てる
さっきの触手と一緒で
催淫性の毒を分泌してるんだ
ぶーッ
ぶーッ
ビキビキ
きゅん
グリグリ
臭いだけで
かなり強いのが分かる
ぼ～
フーッ
フーッ
フーッ
きっとこれを使って
メスを誘惑するんだ
ニヤ
ニヤ
スゥ
ガシ
トロ～ン
フーッ
フーッ
フーッ
直接嗅いだら
どうなっちゃうんだろ・・・


あっ♥
ぐにっ
すごっ
これやばい奴だ
ぐりぐり
はっ♥
はっ♥
はぁ♥
舐めたら絶対に
戻れなくなる奴だ
はぁ♥
ギン
ギン
でっでもこれで
きっと魔力が回復する
ふーっ♥
ふーっ♥
ふーっ♥
きゅん
きゅん


ちょっと…
ちょっとだけ…
はぁ
はぁ
へっ♡
へっ♡
魔力を回復するためだから…
ほんの少しだけ…
ふーッ
ふーッ
じゅるるっ♡
じゅるるっ♡
ぐぐッ
ぐぐッ
ぐぐッ
ぐぐッ
あ…
あれ…？


咥えただけなのに…ッ
ぶぅ～
ぶぅ～
ぶぅ～
あそこがうずうずして…ッ
じゅるっ
じゅるっ
LDL♡
はぁ
しゃぶるの…
はぁ
LDL♡
とまんない
ぢゅるっ♡
ぢゅるっ♡
ぢゅるっ♡


ガッ
？
ぶぉ!?
ガポッ
レイプ
すごい
これが射精？
たくさん出てきた
それに今までと
比べられないぐらい
濃い魔力
ビュー
ビュー


これなら変身する事ができそう…
ぴゅくっ！
ぴゅくっ
ゴクッ
ゴクッ
ぼっ♡
ゴクンッ♡
けど…
すろろろ…
もっと…
はっ
はぁ♡
はぁ♡
ぷはぁ…
もっと欲しい…もっと直接…
あっそうだ…
はぁ～♡
はぁ～♡
えろ～


ここに…っ
ここに出して貰えばいいんだ
はぁ
はぁ～♡
はぁ～♡
大丈夫、少し発情した身体を鎮める為だから…
危なくなったら変身して逃げれば大丈夫
くぱぁっ♡
トロォ…♡
あぐっ
さっきの触手より…
ずぶっ
ずぶっ
びくっ
びくっ
ふとぉお
おぉ


ビクンッ
おっおおっ
ビクビク
はぁ
あッ
あぁッ
これ…っ
想像以上にすッごっい…
はぁ


こんなこと経験したら・・・
ぴくん♡
ぴくん♡
ぴくん♡


だっダメ
やっぱり逃げよう
このままだと
本当に戻れなくなっちゃう
ズイッ
ドイッ
ズイッ
ドイッ
クリクリッ
あッ…♡
あぁッ…♡
すぐに変身して逃げよう
ぽわわっ
ぽーぉ…♡
!?
あぐっ
ガ


なっなに・・を・・・
こっこれじゃ・・
身動きがとれな・・あぐっ・・・


ボッ
チュッ
あっ…ぐ…
ふかっ…いっ！
ぴくっ
あぁ
あぁ
それに急に
中で膨らんで…
これって…まさか
ぴくっ
ぴくっ
だっだめ中は
ビクッ
ボコッ


ひゃめっ！
いま中に出されたら
パンッ
パンッ
あぁ
あぁ
あぁ
あぁ
ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ
ドチュッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ


せっかく作った大事な
魔法少女になる為の卵が・・・
魔獣の卵に作り変えられちゃってる


まっまだ大丈夫
残った魔力を使って浄化すればいいだけ…
あれ…？でもそんな事したらまた魔力が…
あってもまた魔獣から魔力を吸収して…
でもそしたらまた逆戻り？
あれ…よくわかんないや
ビクッ
ビクッ
ビクッ

これもきっと淫毒のせいだ…

はぁ～♡

はぁ～♡

身体が発情しすぎて
まともに考えれないんだ

ビク

だから今は、この身体の
疼きを鎮める為に…

ビクビクッ

どろぉ…

もう少しこのまま使ってもらおっ









